

自己評価報告書

学校教育目標 一人一人を見つめ、自立と社会参加をめざし、たくましい生活力を育てる。						
項目 重点	中長期経営目標	短期経営目標	評価項目 (具体的な計画)	達成状況	評価	改善方策
の充実 「主体的・対話的 で深い学び」 の充実 「主体的・対話的 で深い学び」	○「主体的・対話的 で深い学び」を 引き出す指導・支 援のあり方の研 究	○「主体的・対話 的で深い学び」を 引き出すために ICT を活用した 授業実践。	○公開研究授業の実 施。 ○ICT を活用した 日々の授業実践を基 に「実践シート」の 作成に取り組む。	○外部講師の指導助言の もと、研究授業を実施した。 ○前年度作成したICT活用チ ェックシートを用いながら、 ICT 活用の意図や場面を意識 した「実践シート」を作成し、 今後の取組の参考となる授業 実践の積み重ねに着手した。	B	○児童生徒の実態・ 目標に応じて、ICT を活用する意図・場 面を意識して「主体 的・対話的で深い学 び」を引き出す授業 実践に取り組む。
教育の 一貫性を高める 保護者との共通理解 ・小中高の	○教育支援計画 等を活用し保護 者との共通理解 を図り、小中高の 教育の一貫性を 高める。	○学年間・学部間 での引継ぎをよ り充実させ、小中 高の系統性をよ り高める。	○引継ぐべき重要事 項を懇談等で保護 者と確認。 ○引継ぎ内容の精選 や方法の工夫。 ○小中高の接続につ いて保護者が様子 を見ることができ る機会を増やす。	○重要事項の懇談での確認、 引継ぎの個別化、高等部の進 路行事への参加案内の拡充等 を行った。 ○学校評価アンケート結果で は学年・学部間の引継ぎ・教 育の系統性の項目で、否定的 評価が大幅に減少している。	B	○今年度取組んだ改 善策を継続し、さら に引継ぎ内容・方法 の工夫に努める ○校内での学部間交 流の充実を図る。
教育活動の 充実による専門性 の向上 地域や関係諸機関 と連携した	○児童生徒と地 域との交流、地域 との連携を図っ た教育活動の実 施	○地域の学校や 地域社会、ボラン ティアとの交流。 ○交流籍を活用 した居住地校交 流の推進。	○交流及び共同学習 や地域と学校が協 働した教育活動に取 組む。	○居住地校交流を継続実施。 実施率は4割弱。 ○ボランティア登録者30 名。地域ボランティアと生徒 が協働した校内清掃や地域で の販売活動等を継続実施し た。また、登校見守りも継続 実施していただいた。 ○学校運営協議会・支援地域 本部の発信による地域の社会 資源・学校が協働する行事を 新規に実施した。	B	○地域や関係諸機関 と連携した教育活動 をさらに推進してい く。

4段階評価 (A: 目標を十分に達成 B: ほぼ目標を達成 C: やや不十分 D: 改善を要する)

来年度の重点取組 (学校自己評価を踏まえた今後の方向性)

- 3年間の「主体的・対話的で深い学び」の研究を踏まえ、ICTの効果的な活用を検討していく。
 - 教育支援計画の活用等により保護者との共通理解を図るとともに、行事や学部間を越えた関わりをとおし
て小中高の連携や教育の一貫性を高める。
 - 進路に関して必要に応じた情報を提供し、適切な進路指導を実施する。